

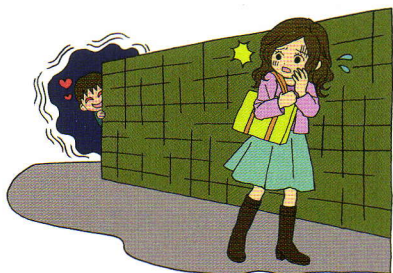


一人暮らしの防犯チェックポイント

アパート選びでは、通勤や通学に便利な場所、家賃などの条件を重視する方がほとんどですが、安全も重要な条件の一つです。

一人暮らしを楽しく安全に過ごすための、7つの防犯チェックポイントをご紹介します。

ポイント1 駅や勤務先、大学までの間に危険な場所はないですか？

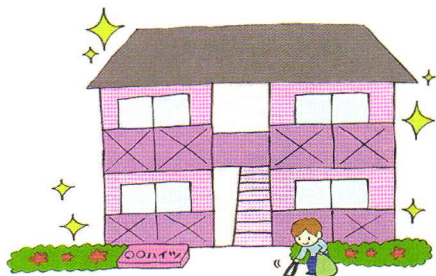


草が生い茂った空き地や、塀で囲まれた廃屋などは要注意！

引っ張り込まれたら、助けを呼んでも誰にも気がついてもらえません。夜間の人通りの多さ、街灯の有無などを、実際に見て、歩いて確認してみましょう。

近所の人に、聞いてみるのもいいですね。

ポイント2 アパートの周りはきれいですか？



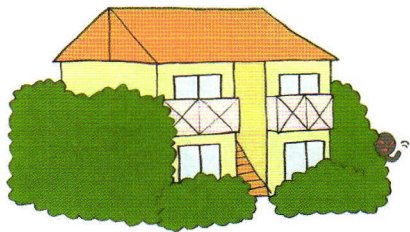
掃除の行き届いたきれいな地域や物件は、防犯性が高い！

エントランスや共用廊下、駐輪場などがきれいな物件は、家主さんや業者さんがこまめに掃除をしている証拠です。

同様に、落書きやゴミのない地域は、町内で清掃活動などをして結束していると言えます。

地域の人が仲良く、常に人目があると、不審者は近寄りにくいのです。

ポイント3 アパートの見通しはいいですか？



木が茂ったりして、周りからの見通しが悪い物件は要注意！

不審者が侵入して待ち伏せていても、見えにくいと気がつくことができません。

共用エントランスや、玄関の周りは明るく見通しがいいですか？

夜間の照明も、実際に確認してみましょう。

女性はチェックポイント+3！

① 「自分は大丈夫」と思わないで！

誰もが被害者になる危険性があります。

痴漢やひったくり、ストーカーなどの被害に遭うのは、女性がほとんどです。

「自分は大丈夫」という油断が危険を招きます。

用心しすぎるということはないのです。

② 歩きながらのメール、電話、音楽は危険！

後ろから忍び寄る気配に気づけますか？



これらの行為は、不審者の接近に気づけず、大変危険です。

特に夜間は、時々後ろを振り返って警戒しましょう。防犯ブザーも有効です。

③ 女性の一人暮らしがわからない工夫を！

不審者は女性の一人暮らしを狙っています。

性別、年齢、一人暮らしであることがわからないようにしましょう。

洗濯物が見えないところに干す、表札は名字だけに、かわいいカーテンは避けるなどを心がけてください。

男性の靴を玄関に置くのも◎。